令和7年度　事務事業評価シート（１）
[令和6年度事務事業]

特別会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	介護予防普及啓発事業（本庁）					事業番号	011-060
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well－being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現
			有	取組の方向性	①自立支援・介護予防・健康増進の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	前期高齢者の要支援認定率		
			有	現状値	2.83%(2019年度)	目標値	2.30%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑶すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8
			有	取組	地域包括ケアシステムの推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和6年度(2024)～8(2026)年度）		
3	事業開始年度	平成　18　年度	点検対象年度	令和　7　年度
4	実施根拠	介護保険法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁・各区		
6	事業の対象	65歳以上の高齢者のうち要介護認定を受けていない方	対象数	単位
			約171,000	人
7	事業の目的	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、要支援や要介護状態になることを予防する。		
8	事業内容	保健センターまたは地域会館において、高齢者等に対し介護予防にかかる知識の普及啓発や介護予防プログラムの提供を行う。 事業内容は以下のとおり。 ①げんきあっぷ教室：老人福祉センターや地域会館等で運動指導士による運動機能向上のプログラムを実施。 ②低栄養改善：管理栄養士等による低栄養予防のための講座を実施。 ③口腔機能の向上：歯科衛生士や言語聴覚士等による口腔機能向上のための講座を実施。 ④複合型介護予防教室：認知症を予防するための取組を中心に、運動機能向上、低栄養改善、口腔機能向上のプログラムを実施。 ⑤介護予防健康教育：保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による介護予防や健康づくり全般に関する講座を実施。 ⑥いい歯自慢コンテスト：80歳以上で自分の歯を20本以上持つ方を対象に、歯科医師による審査を実施し、表彰する。 ⑦堺コッカラ体操リーダー養成講座：地域でコッカラ体操のリーダーとして活躍できる方を養成する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	セントラルスポーツ（株）、（株）元気サポート、NPO法人みんなのwell.net、（株）アクティブ、（社福）大阪府社会福祉事業団特別養護老人ホーム美原荘		
10	公民連携・協働事業			

Ⅱ．事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標　点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
11	開催回数 事業内容8の①～⑦の開催回数	回	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	1,176	1,309		
			達成率	98%	109%		
	当該指標を選定した理由	保健センターや地域等で介護予防に関する教室や講座に参加する機会を提供し、地域の介護予防活動への参加を促す。					
	目標値の設定根拠・算出方法	過去の実績に基づき設定した介護予防教室・健康教育・出前講座の開催予定回数					

	活動指標	単位		実績		目標
				令和5年度	令和6年度	令和7年度
12	参加延人数 事業内容８の①～⑦の参加延人数	人	目標値	24,000	24,000	24,000
			実績値	19,580	22,535	
			達成率	82%	94%	
	当該指標を選定した理由	継続して介護予防に取り組む高齢者が増えることで、健康寿命の延伸につながる。				
	目標値の設定根拠・算出方法	介護予防教室・健康教育・出前講座等の参加延人数。各教室定員の合計数を目標値とする。				

令和7年度　事務事業評価シート（２）

事務事業名	介護予防普及啓発事業（本庁）	事業番号	011-060

Ⅲ．投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。　（単位：千円）

	項　目	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 当初予算	令和6年度 決算	令和7年度 当初予算
	事業費（a）	20,210	19,681	28,056	21,467	28,520
13	財源内訳 国支出金	5,052	4,920	7,014	5,367	7,130
	財源内訳 府支出金	2,526	2,460	3,507	2,683	3,565
	財源内訳 市債	0	0	0		0
	財源内訳 その他（被保険者保険料）	10,105	9,841	14,028	10,734	14,260
	財源内訳 受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	財源内訳 一般財源	2,527	2,460	3,507	2,683	3,565
14	人件費　（ｂ）	2,460	2,430	2,430	2,430	2,520
15	年間経費（ｃ）=（ａ）+（ｂ）	22,670	22,111	30,486	23,897	31,040

事業費の内訳

（単位：千円）

		項　目	年度		事業費	うち一般財源	項　目	年度		事業費	うち一般財源
16	事業費内訳	地域型げんきあっぷ教室委託料	R6	決算	10,754	1,344	その他報償費	R6	決算	3,237	405
			R7	予算	15,315	1,915		R7	予算	3,526	441
		複合型介護予防教室委託料	R6	決算	5,014	627	会場賃借料・研修会参加負担金	R6	決算	238	30
			R7	予算	6,160	770		R7	予算	400	50
		堺コッカラ体操リーダー養成講座委託料	R6	決算	298	37		R6	決算		
			R7	予算	298	37		R7	予算		
		教室運営必要経費（消耗品・印刷製本費・郵便料等）	R6	決算	1,212	151		R6	決算		
			R7	予算	1,754	219		R7	予算		
		健康教育講師謝礼金等	R6	決算	714	89		R6	決算		
			R7	予算	1,067	133		R7	予算		

Ⅳ．事業の効率性

単位当たり経費

		区　分	単位	令和5年度	令和6年度
17	①	委託教室の開催回数	回	1,176	1,309
	②	上記①にかかる年間経費	千円	16,793	18,003
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	14,280	13,753
	算出についての説明等	地域型げんきあっぷ教室・複合型介護予防教室・コッカラリーダー養成講座の委託教室の開催に係る単位当たりの経費			

Ⅴ．評価

費用対効果に係る所見

18　介護予防に取り組む機会を提供するため、介護予防教室を開催。老人福祉センター型げんきあっぷ教室の定員や実施回数を見直し、令和6年度も積極的に事業を実施した結果、実施回数、参加者ともに約1割増加となった。継続的に教室参加することで自立した生活が継続され、介護予防に繋がっている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19　令和6年度は前年度比で実施回数、参加者ともに約1割増加し、多くの市民に介護予防に取り組むきっかけを提供できた。高齢者においては、個々の状況に適した介護予防教室や地域の通いの場へ参加することはフレイルや閉じこもりを予防し、心身状態の改善を図り、要支援要介護状態への進行を防ぐことに寄与している。今後も身近な通いの場で、仲間とともに定期的に介護予防に取り組むことが重要であることから、取組を継続していく。